

2024 奨励研究報告書

人文学部心理学科子ども心理専攻の教育課程と認定絵本士課程展開の研究

武井 昭也 札幌国際大学人文学部国際教養学科
増山 由香里 札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻
須藤 宏志 札幌国際大学人文学部心理学科子ども心理専攻

はじめに

人文学部心理学科子ども心理専攻では、教育をより充実させるために 2024 年度より国立青少年教育機構開設の「認定絵本士」資格取得の科目を展開することとした。

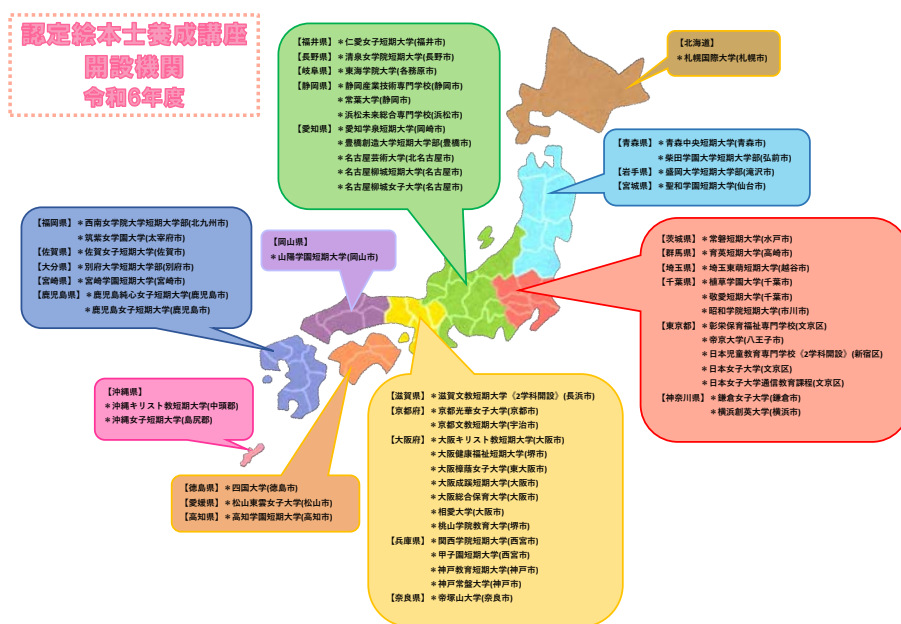
国立青少年教育振興機構では 2014 年から絵本専門士の養成を、2019 年から絵本専門士の前段階にあたる認定絵本士の養成を行っている。国立青少年教育振興機構（2004）によると、絵本専門士は、絵本に関する高度な知識、技能及び感性を備えた絵本の専門家であり、子どもたちの健やかな成長を促す絵本の可能性やその活用法を学校や家庭のみならず地域社会全般に普及させるとともに、絵本の読み聞かせやワークショップをはじめとした子どもたちの読書活動の推進に携わることができることが期待されている。また、同機構（2004）によると、認定絵本士は、上述した絵本専門士の前段階の資格であり、大学や短大等で開設される認定絵本士養成講座を受講することにより資格認定される。認定後、資格取得者は学んだ知識や技能等を活かして絵本の魅力や可能性を伝え読書活動を充実させる役割が期待されており、さらに認定絵本士として一定の実務・実践経験を積み、資質・能力がふさわしいと絵本専門士委員会から認められると絵本専門士として認定される。

本報告では「認定絵本士」講座開設にあたって、他学先行事例の成果と課題を学び、より充実した教育の展開に寄与する提言をする。

また、2024 年度秋学期開講「絵本の世界Ⅰ」受講学生の受講状況を整理検証し、今後の授業改善等の課題を検討する。

1. 認定絵本士資格

認定絵本士の養成は絵本専門士委員会から認定絵本士養成講座開設機関として認定された全国の大学や短期大学等において行われている（国立青少年教育振興機構、2004）。開設校は 2024 年度現在 57 校（大学 18 短期大学 33 専門学校 6）である。北海道では本学のみ。2025 年度北翔大学短期大学部が加わり 2 校となる。



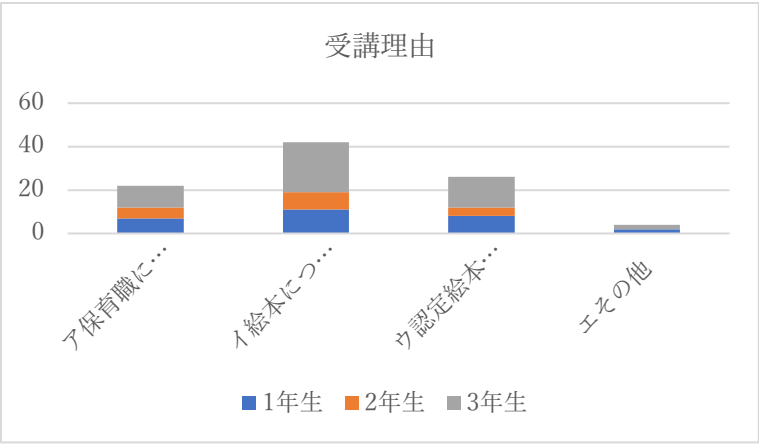
開設機関は、教育課程の中で同委員会が定める「認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドライン（絵本専門士委員会 2023）」に基づいた講座（30 コマ、50.5 時間）を開設し、学生はその講座が含まれる授業科目の単位を修得することにより認定絵本士の称号を得ることができる。絵本専門士委員会（2020）が作成した認定絵本士養成講座のテキストをもとにカリキュラムを概観すると、その内容は絵本の歴史や様々なジャンルの絵本についての知識、ブックトークやおはなし会等の技法、図書館等の施設やデータの活用技術、心のケア等の様々な場面での活用可能性、絵本作成や流通の背景等、その内容は多岐にわたっている。

本学は 2024 年度より北海道初の認定絵本士養成講座開設機関として認定され、養成講座として「絵本の世界Ⅰ」、「絵本の世界Ⅱ」の 2 つの授業を開講した。

2. 本学認定絵本士講座

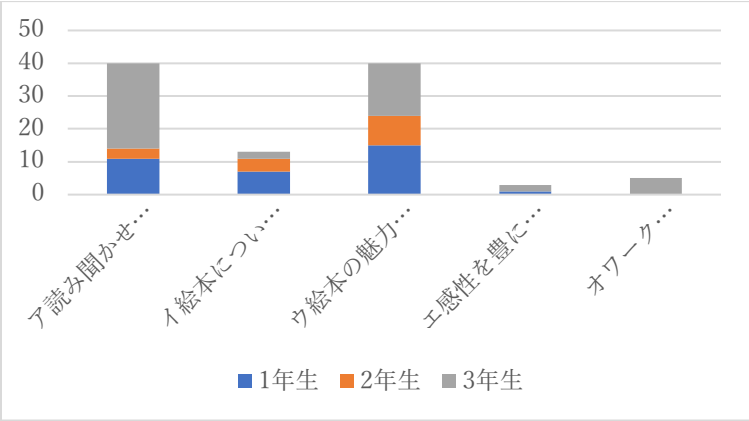
本学認定絵本士講座は秋学期に「絵本の世界Ⅰ」、春学期に「絵本の世界Ⅱ」を開設した。2024 年度秋学期「絵本の世界Ⅰ」は 67 名の受講者を 2 クラスに分け展開した。3 年生 32 名、2 年生 13 名、1 年生 22 名である。

1 回目オリエンテーションでの受講生の絵本に関する意識は以下の通り。



受講理由	24 名	12 名	35 名	
複数回答	1 年生	2 年生	3 年生	合計
ア保育職に役立てたい	7	5	10	22
イ絵本について深く学びたい	11	8	23	42
ウ認定絵本士資格取得	8	4	14	26
エその他	2		2	4

2024 年度「絵本の世界Ⅰ」履修生の受講理由



履修生の抱負

何ができるようになりたいか	24 名	12 名	35 名	
複数回答	1 年生	2 年生	3 年生	合計
ア読み聞かせスキルアップ	11	3	26	40
イ絵本について深く学びたい	7	4	2	13
ウ絵本の魅力を広めたい	15	9	16	40
エ感性を豊にしたい	1		2	3
オワークショップなど開催			5	5

授業計画は以下の通りである。

絵本の世界 I

担当教員名	増山 由香里、武井 昭也
開講期・単位	1年 秋学期・選択 2単位・講義
講義の目的および概要	認定絵本士養成の科目です。 絵本の魅力に気づき、絵本を通して子どもたちとの応答性を高め、子どもの理解が進むことを目的としています。専任教員とその領域を専門とする外部講師による連続講義・演習により展開します。
講義方法/課題に対するフィードバックの方法	【講義方法】 教室での講義と演習により展開します。専任教員と各領域の専門講師が連携し、理解を深め実践力を養成します。 【課題に対するフィードバックの方法】 レポートと演習発表を繰り返し、授業内でのフィードバックとmanabaでの確認によりフィードバックします。
授業計画	①オリエンテーション 武井 ②絵本総論 武井 ③絵本各論1（絵本の歴史、絵本賞） 武井 ④絵本各論2（視覚表現、言語表現から見た絵本） 増山 ⑤さまざまなジャンルの絵本1（物語） 藤田・増山 ⑥絵本各論4（メディアとしての位置づけ） 武井 ⑦さまざまなジャンルの絵本2（昔話、童話） 藤田・増山 ⑧さまざまなジャンルの絵本3（科学） 藤田・増山 ⑨絵本と出会う4（書店での出会い） 藤田・増山 ⑩絵本各論3（子どもの知的・社会的発達） 増山 ⑪絵本と出会う1（はじめての出会い） 増山 ⑫子どもの心をとらえるもの絵本の持つ力 森・武井 ⑬大人の心を豊かにする絵本 森・武井 ⑭絵本と出会う2（保育・教育の場での出会い） 増山 ⑮ホスピタリティに学ぶ 森・武井
到達目標/卒業認定・学位授与の方針との関連	【到達目標】 ①絵本に関する知識を深める ②絵本のある保育と家庭生活、社会生活の豊かさを認識する ③絵本の魅力と意義についての認識を深める

受講理由、授業内容の理解度、印象に残った講義、身についたと思うスキル等に関する質問の回答からは資格取得に加えて、教育現場で教員や保育者として絵本を活用することが強い受講動機となっている。理解度が高かった内容は、年齢段階に応じた絵本選びや保育・教育現場での絵本活動に関するものだった。また、絵本作家、書店社長等による絵本に関する特殊性の高い講義は受講者の印象に残っていたが、内容の理解度は相対的に低くなる傾向にあった。身についたと思うスキルは、年齢やテーマ等に応じた絵本を選ぶスキル、読み聞かせや絵本を読むスキル、絵本の魅力や特徴を客観的に評価して伝えるスキルであった。これらの結果に基づいて、今後の授業改善等に係る課題を検討する。

認定絵本土養成講座の授業における学生の意識等について検討した最近の調査研究としては、古川・石川(2023)や、廣瀬・羽地・玉城・赤嶺(2023)がある。例えば、古川・石川(2023)は、短期大学生40名を対象として養成講座の受講後の意識（絵本が好きか、資格修得後に行いたい活動等）の変化を検討している。その結果、例えば、受講後には子どもに読み聞かせるだけでなく保護者にも絵本について伝えたいというような変化が見られ

た。また、これらの研究の対象者はいずれも短期大学の1年次もしくは2年時で講座を受講していた。

本専攻では、保育実習と教育実習の経験を有する大学1年生を対象に「絵本の世界Ⅰ」「絵本の世界Ⅱ」を開講しているが、その意図は、実習で学ぶ具体的な子どもの姿や発達段階のイメージと結びつけて、絵本に係る様々な知識や実践的スキルを体得することにある。したがって本稿では、(1)受講理由、(2)授業内容の理解度、(3)受講後の実践への興味・関心、(4)印象に残った講義、(5)身についたと思うスキル、(6)講義内容や方法の改善点、に関する質問への回答や自由記述を分析することで実習を経験した受講者の学びがどのようなものであるかを検証した。また、今後の講座運営に活かすことができるような改善点についても考察する。

3. 他学視察報告

(1) 京都光華女子大学 こども教育学部こども教育学科(学科長 智原江美) 2024年10月30日訪問

【沿革】

真宗大谷派(東本願寺)仏教系女子大学。創立者は香淳皇后の妹で、東本願寺第24代門主夫人大谷智子。

1939年(昭和14年)財団法人光華女子学園設立認可、光華高等女学校設置認可

1950年(昭和25年)光華女子専門学校を光華女子短期大学に移行。文科、家政科を設置

1951年(昭和26年)学校法人光華女子学園設立認可

1964年(昭和39年)光華女子大学開設。文学部日本文学科、英米文学科を設置(短期大学文科を移行)

1965年(昭和40年)光華幼稚園開設

1968年(昭和43年)光華小学校開設

1998年(平成10年)光華女子大学大学院開設。文学研究科日本語日本文学科英語英米文学科(修士課程)設置

2000年(平成12年)4月1日・光華女子短期大学生活学科を光華女子短期大学部生活環境学科に改称。光華女子大学文学部日本文学科を日本語日本文学科に、英米文学科を英語英米文学科に改称。

2001年(平成13年)各校の校名を変更

光華女子大学大学院→京都光華女子大学大学院

光華女子大学→京都光華女子大学

光華女子大学短期大学部→京都光華女子大学短期大学部

光華高等学校→京都光華高等学校

光華中学校→京都光華中学校

2006年(平成18年)短期大学部にこども保育学科を設置

2015年(平成27年)短期大学部こども保育学科を改組し、こども教育学部こども教育学科を開設

【学科構成】

○こども教育学部>こども教育学科>学校教育コース・幼児教育コース

○健康科学部>医療福祉学科(2024年4月学生募集停止)社会福祉専攻・言語聴覚専攻

心理学科

健康栄養学科>管理栄養士専攻・健康スポーツ栄養専攻

看護学科

○キャリア形成学部>キャリア形成学科

○看護リハビリテーション学部(2024年4月開設)>看護学科

福祉リハビリテーション学科>作業療法専攻・言語聴覚専攻・社会福祉専攻

○短期大学部>ライフデザイン学科

○研究科>看護学研究科>看護学専攻(修士課程)

○心理学研究科>臨床心理学専攻(修士課程)

○専攻科>助産学専攻科(1年課程)(2018年4月開設)

【こども教育学科教育課程】

取得可能な資格・免許状

幼児教育コース

●幼稚園教諭一種免許状●保育士資格●小学校教諭一種免許状

初等教育コース

●小学校教諭一種免許状●幼稚園教諭一種免許状●保育士資格※

※一定の基準をクリアすれば取得を目指すことも可能。

コース共通

●社会福祉主事（任用資格）●知的・精神障害者移動支援従業者（ガイドヘルパー）●認定絵本士

●小学校英語指導者資格（J-SHINE 認定）●幼児教育・保育英語検定※

※検定合格のためのサポートを行っている。

4年間のカリキュラム（抜粋） ● 必修科目

コース選択は入学後に行います。入学後の学びの中で、希望者は担当教員と相談の上、コース変更をすることもできます。

幼児教育コース		初等教育コース	
専門科目	実習	専門科目	実習
1年次 ●子どもの理解と援助 ●音楽I ●音楽II ●保育内容総論 ●保育内容（健康・人間関係） ●保育の心理学	KOKA初年次インターン 光華幼稚園・小学校で保育・授業参観。 ボランティア 光華幼稚園で行われる園庭開放イベント「ワイワイキッズ」に参加。光華こどもひろば保育参加。	●教育原理 ●音楽I ●教職論 ●理科 ●算数 ●国語（書写を含む） ●社会	KOKA初年次インターン （小学校1日、幼稚園1日） 前期から、光華小学校・光華幼稚園の授業参観を実施します。授業の様子から学びとった事柄を整理してまとめ、ポスター発表の仕方を学び、発表力を磨きます。
2年次 ●保育基礎演習 ●音楽III・IV ●図画工作I ●保育内容（言葉・環境・総合表現I） ●子どもの保健 ●子どもの食と栄養	インターンシップ 光華幼稚園での施設見学や実習前の事前学習を行います。 保育実習I（保育所） 【2年次】11月（2週間） 実習協力園〔京都府、滋賀県、大阪府など〕で実習。 保育実習I（施設） 【2年次】2～3月（10日間） 実習協力施設（児童福祉施設など）〔京都府、滋賀県、大阪府など〕で施設実習。	●図画工作I ●体育I ●生活 ●教育方法論（初等）（ICT活用を含む） ●教育課程論（初等） ●社会科指導法 ●国語科指導法 ●理科指導法 ●英語 ●家庭	インターンシップ（半年） ボランティア先の小学校で、半年間インターンシップを行います。その経験を、大学の授業で繰り返し振り返ることで、体験と理論をスムーズに結びつけます。 ボランティア（11日間） 2年次の4月から、公立・私立小学校でボランティア活動を行います。 介護等体験（7日間）
3年次 ●教育の制度・運営 ●保育内容（総合表現II） ●音楽V ●こどもと絵本I・II ●専門ゼミ	光華幼稚園の預かり保育や夏期保育に参加し、保育の実践力を高めます。 教育実習（幼・小） 【3年次】9月（4週間） 学生自身が希望する幼稚園*で実習。 *京都府、滋賀県、大阪府など 保育実習II ←どちらか選択→ 保育実習III 【3年次】9月（4週間） 学生自身が希望する実習園での実習〔京都府、滋賀県、大阪府など〕。 保育実習III 【3年次】9月（4週間） 実習協力施設（児童福祉施設など）での実習〔京都府、滋賀県、大阪府など〕。	●生徒指導論（初等） ●音楽科指導法 ●図工科指導法 ●家庭科指導法 ●体育科指導法 ●英語科指導法 ●総合的な学習の指導法 ●専門ゼミ	教育実習（幼・小） 3年次9月【4週間】 これまでの経験を基に、出身の小学校を中心に4週間の教育実習を行います。実習を通して大きな自信と意欲が生まれます。 ボランティア（半年） 3年次の4月からは、公立・私立小学校を中心にボランティア活動を行います。子どもとの関わり合いを継続することで、教育者としての現場経験を積み重ねます。
4年次 ●仏教教育論 ●人権教育 ●卒研ゼミI・II ●音楽VI・VII ●教職・保育実践演習 ●卒業研究	教育・保育現場での体験・研修 学生の興味・関心に応じて、幼稚園・保育所・認定こども園・社会福祉施設などでの体験・研修を重ねます。授業で得た知識を実践と結びつけ、定着させます。	●仏教教育論 ●人権教育 ●卒研ゼミI・II ●多文化理解 ●教職・保育実践演習 ●卒業研究	教育現場での体験・研修 学生の興味・関心に応じて小学校での体験・研修を重ねます。（光華小学校の研究参加授業参観など）

※上記は開講科目の一例です。カリキュラムの内容については一部変更になる場合があります。

【実習の流れ】

初等教育コース

1年次

KOKA 初年次インターン（小学校1日、幼稚園1日）

前期から、併設の光華小学校・光華幼稚園の授業参観を実施します。授業の様子から学びとった事柄を整理してまとめ、ポスター発表の仕方を学び、発表力を磨きます。

2年次

インターンシップ（半年）

ボランティア先の小学校で、半年間インターンシップを行います。その経験を、大学の授業で繰り返し振り返ることで、体験と理論をスムーズに結びつけます。

ボランティア（11日間）2年次の4月から、公立・私立小学校でボランティア活動を行います。

介護等体験（7日間）

3年次

小学校教育実習3年次9月[4週間]

これまでの経験を基に、出身の小学校を中心に4週間の教育実習を行います。実習を通して大きな自信と意欲が生まれます。

ボランティア(半年)

3年次の4月からは、公立・私立小学校を中心にボランティア活動を行います。子どもとの関わり合いを継続することで、教育者としての現場経験を積み重ねます。

学科教員×教職・保育職支援センター

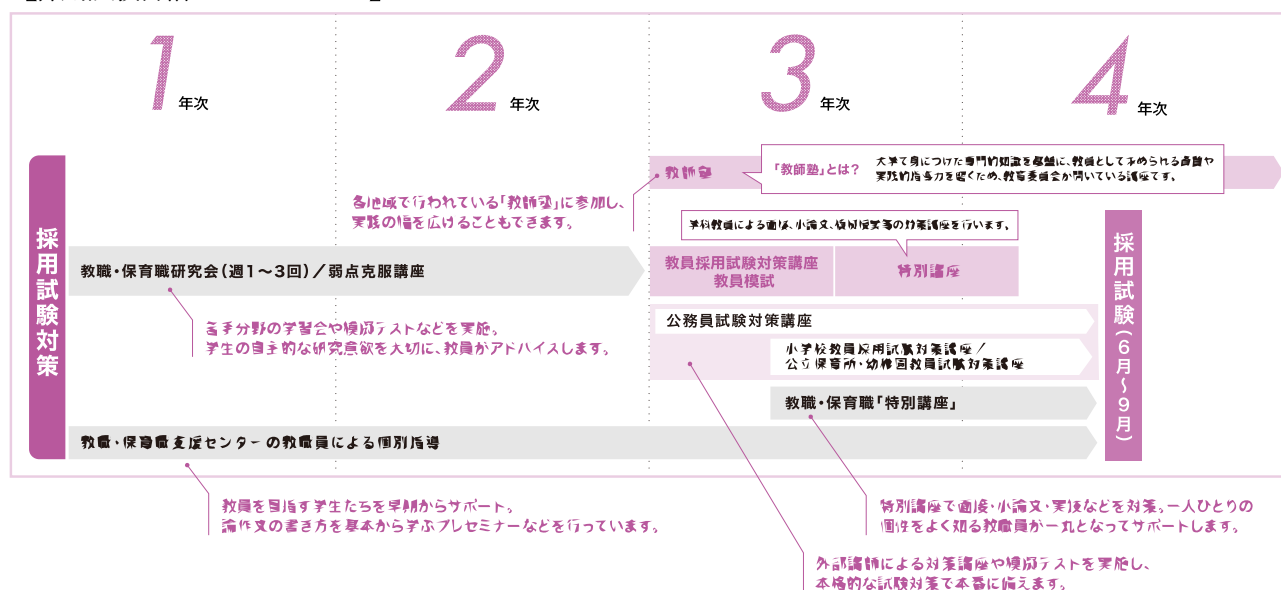
早期からの手厚い採用試験対策。

1年次から参加できる教職・保育職研究会など、早期から採用試験を意識した学習がスタート。経験豊富な教員たちから、それぞれの専門科目について個別の学習サポートを受けられます。学科外でも、教職・保育職支援センター員が中心となり、採用試験に向けた対策サポートを行っています。教職課程における履修相談から、教育実習に関する相談、面接・論文指導まで、学生たち一人ひとりの目指す自治体の出題傾向に合わせた指導が充実しています。

【実施講座】

- 採用試験対策講座「とうあかさん」
- 自主勉強会「Study meeting」
- 論文基礎「プレ論文セミナー」
- 面接／集団討論／論文「面接・論文セミナー」
- 模擬保育・音楽実技対策「幼保なつ・あき特訓」
- 採用試験模擬試験「モシ・モシ」

【採用試験合格までのサポート】



幼児教育コース

1 年次

KOKA 初年次インターン

併設の幼稚園・小学校で保育・授業参観。

ボランティア

併設の幼稚園で行われる園庭開放イベント「ワイワイキッズ」に参加。光華こどもひろば保育参加。

2 年次

インターンシップ

併設の幼稚園での施設見学や実習前の事前学習を行います。

保育士資格

保育実習Ⅰ（保育所）[2年次] 11月（2週間）
実習協力園〔京都府、滋賀県、大阪府など〕で実習。

保育士資格

保育実習Ⅰ（施設）[2年次] 2～3月（10日間）
実習協力施設（児童福祉施設など）〔京都府、滋賀県、大阪府など〕で施設実習。

3年次併設の幼稚園の預かり保育や夏期保育に参加し、保育の実践力を高めます。

幼稚園教諭一種免許状

幼稚園教育実習 [3年次] 9月（4週間）

学生自身が希望する実習園で実習。

保育士資格（どちらか選択）

保育実習Ⅱ（保育所）[3年次] 11月（2週間）

学生自身が希望する実習園での実習〔京都府、滋賀県、大阪府など〕。

保育実習Ⅲ（施設）[3年次] 11月（10日間）

実習協力施設（児童福祉施設など）での実習〔京都府、滋賀県、大阪府など〕。

4年次

教育・保育現場での体験・研修

学生の興味・関心に応じて、幼稚園・保育所・認定こども園・社会福祉施設などでの体験・研修を重ねます。授業で得た知識を実践と結びつけ、定着させます。

実習前後の充実したサポート体制

教員からの個人指導はもちろん、先輩・後輩間で相談ができる環境や学生同士が学び合える体制を整えています。

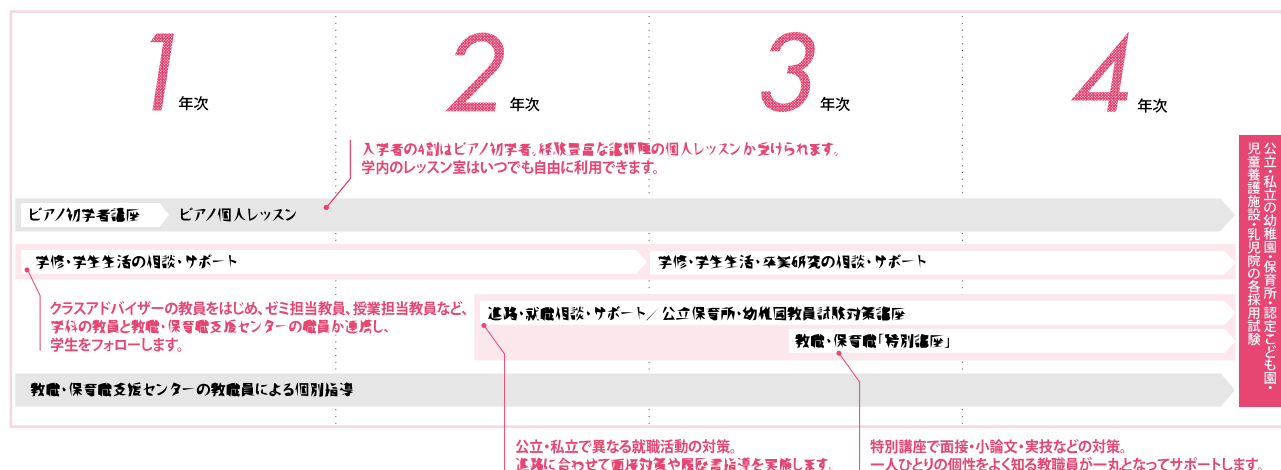
実習前

- 実習記録の取り方、保育案の立て方、教材研究などを学ぶ。
- 実習を経験した4年生から経験談を聴き、具体的なイメージを持つ。
- 立案した保育案で模擬保育を行い、実習に向けて改善をはかる。
- 実習前には、幼稚園・保育園・施設の方をゲストスピーカーとしてお招きし事前学習を行う。

実習後

- 教員と共に実習を振り返り、自己評価を行うことで、今後の保育実践のための自己課題を明確にする。
- 学生同士でお互いの実習内容や学びを報告会で共有し、多様な保育現場や保育方法を理解する。
- 後輩学生へ自らの体験談を伝えることで、気づきにつなげる。

【採用試験合格までのサポート】



【認定絵本土対応】

○「こどもと絵本Ⅰ・Ⅱ」幼児教育コース3年次配当

[こども教育学科コモンズ]入口協掲示板の掲示コンテンツ

○京都光華女子大学が選ばれる理由 教員になるために成長できる環境がここにはある

○京都市内の四年制大学初！認定絵本土資格取得が可能

参加した学生の感想

図書館の企画で絵本の読み聞かせをさせて頂きました。実習で子どもたちに絵本を読むことはありましたが、大人の方を含めた読み聞かせは初めてだったので、とても良い経験になりました。子どもや大人の方にも絵本の読み聞かせを楽しんでもらいたいという想いから、読み方を工夫したり問いかけてみたりといった方法で、皆様に絵本の世界へお連れすることができたのではないかなと思います。自分自身も、実習や公務員試験対策など、今までの経験を活かして行うことができました。そして、自信となりこれからも絵本を追求し、好きになりたいと思います。認定絵本士という資格を活かして、多くの人に絵本の良さを知ってもらいたいと思いました。



(2) 大阪総合保育大学（学長 大方美香）2024 年 11 月 1 日訪問

【沿革】

保育・教育の高度な知識・技能と高い使命感を持った人材を養成する日本で初の保育・教育系単科私立大学。児童保育学部には、4 年間で保育士資格および幼稚園教諭一種・小学校教諭一種・特別支援学校教諭一種の教員免許が同時に取得できる「児童保育学科」と「赤ちゃん学」「脳科学」「病棟保育」などをもとに乳児について専

門的に学ぶ「乳児保育学科」がある。

さらには高度な専門性をもつ専門家の養成のために、幼稚園教諭専修・小学校教諭専修教員免許が取得できる大学院児童保育研究科修士課程が2010年に設置され、2012年には同研究科博士後期課程も設置された。

設置者である学校法人城南学園は2025年に「創立90周年」を迎える総合学園であり、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短期大学部、大学、大学院、総合保育研究所、子ども総合保育センター、福祉会を有する。

2006年4月 大阪総合保育大学設立。児童保育学部児童保育学科を開設

2008年4月 子ども総合保育センターを開設

2010年4月 大阪総合保育大学大学院開学。児童保育研究科児童保育専攻修士課程を開設

2011年4月 総合保育研究所を開設

2012年4月 大阪総合保育大学大学院児童保育研究科児童保育専攻博士後期課程を開設。新校舎竣工

2016年4月 大阪総合保育大学設立10周年。保育園開設

2020年4月 児童保育学部乳児保育学科開設。新校舎竣工

2025年4月 大阪総合保育大学短期大学部開設

【学科構成】

児童保育学科：入学定員110名、3年次編入20名

乳児保育学科：入学定員70名、3年次編入5名

(入学者数 2022年178 2023年192 2024年148)

大阪総合保育大学大学院

博士前期課程 入学定員10名 収容定員20名

博士後期課程 入学定員3名 収容定員9名

【教育課程】 https://soho.jonan.jp/department_childcare/ (2025.3.16)

児童保育学科の特色

0歳から12歳までの成長を見据えた保育・教育のスペシャリストへ！

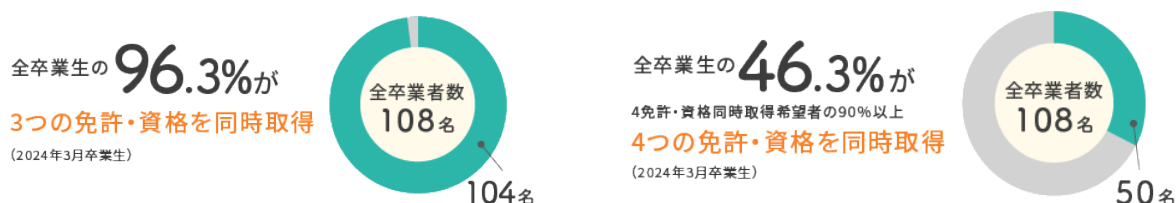
「小学校入学後を見据えた保育所・幼稚園の先生」「保育所・幼稚園の内容を深く理解した小学校の先生」へと成長していきます。いま、求められている0歳から12歳までの成長をトータルで考えられる保育者・教育者を育てています。さらに、特別支援学校教諭免許を取得でき、障がいについても深く学ぶことができます。

免許・資格の複数取得のための独自カリキュラムで、

「3大免許（保・幼・小）同時取得」率が全国トップクラス！

3免許・資格の中からどれかを選んで取得するのではなく、無理なく同時取得できるのが総保大の魅力です。

将来、自分が働きたい希望が変わっても対応できることが大きいですが、世の流れとして幼・小連携、幼保一体など、いままでの教育の枠組みにおさまらない変化が現場で起きています。認定こども園には、保育士・幼稚園教諭の免許が必須であり、公立幼稚園の中では、幼稚園免許、小学校免許の両方が必要な自治体（大阪市・堺市など）も現れています。



就職が厳しいといわれるなか、今年度卒業生の就職率は100%となりました。また、4年間のインターンシップや幅広い学びの中で、「自分が何に向いているか」「自分にしかできないことは何か」に気づくことができるため、専門職就職率も97.1%と大変高くなっています。



取得可能免許・資格：保育士、幼稚園教諭1種免許、小学校教諭1種免許、特別支援学校教諭1種免許

その他の取得可能資格：認定ベビーシッター、認定絵本土、社会福祉主事任用資格

保・幼・小の免許・資格同時取得のメリットは？

「保幼小連携」に対応できる人物が求められています。理論として保幼小連携を学ぶだけでなく、「保育士・幼稚園教諭1種・小学校教諭1種の免許・資格を3つ同時取得」できるため、時代が求める保幼小連携に対応する能力がある「先生」であることを証明できます。また、将来の仕事の幅を広げることできます。児童保育学科全卒業生の96.3%が「保幼小3つ同時取得」しています。(2024年3月卒業生)

保幼小連携ってなに？

保育所・こども園・幼稚園・小学校の連携が求められています。理由は、保育・幼児教育から小学校教育の変化に子どもたちが戸惑い、円滑に移行できないケースが多いからです。総保大では「小学校教育を理解した、保育所・幼稚園の先生」「保育所・幼稚園までの内容を理解した、小学校の先生」を育てることで、今現場で求められている、今子どもたちが求めている先生を育成しています。

特別支援学校教諭1種免許取得の意義は？

特別支援学校・特別支援学級などで、教育や支援を行うための免許です。近年はLD(学習障害)、ADHD(注意欠陥/多動性障害)など障害のある子どもの割合が増加傾向にあり、保幼小のどこでも支援を必要としている子どもがいます。総保大では、保幼小の免許・資格に特別支援学校教諭1種免許を加えた4つを同時取得可能で、特別支援学校の先生として勤務しない場合も、免許取得のために身につけたチカラは必ず役に立ちます。

24 履修科目一覧表

児童保育学部 児童保育学科
(2024 年度 入学生用)

●卒業必修 ○資格必修 ○選択必修

区分	科目名	授業方法	単位数	年次	期別	卒業	保育士	幼稚園教諭一種	小学校教諭一種	認定ベビーシッター	社会福祉主事任用
基礎科目	教育学概論	講義	2	1	半期	●	○	○	○		
	倫理学	講義	2	3	半期	●	○				○I
	社会学	講義	2	4	半期	●	○B				○I
	人間論	講義	2	2	半期	●	○				
	子どもの人権	講義	2	4	半期	●	○B				
	生活環境論	講義	2	4	半期	●	○B				
	総合保育論	講義	2	4	半期	●	○B				
	情報処理演習Ⅰ	演習	1	1	半期	●	○B	○	○		
	情報処理演習Ⅱ	演習	1	1	半期	●	○B	○	○		
	日本国憲法	講義	2	1	半期	●	○B	○	○		
	英語	演習	2	1	通年	●	○	○	○		
	フランス語	演習	2	2	通年	○A	○C				
	韓国語	演習	2	2	通年	○A	○C				
	体育（講義）	講義	1	1	半期	●	○	○	○		
	体育（実技）	実技	1	1	半期	●	○	○	○		
基礎科目の必要単位数小計						24					
学科科目	社会福祉	講義	2	1	半期	●	○				○I
	子育て支援	演習	1	2	半期	●	○				○I
	子ども家庭福祉	講義	2	1	半期	●	○				○I
	保育原理	講義	2	1	半期	●	○	○G			
	保育者論	講義	2	1	半期		○	○G			
	保育の心理学	講義	2	1	半期	●	○				
	子どもの理解と援助	演習	1	3	半期	●	○				
	子どもの保健	講義	2	2	半期	●	○				
	子どもの健康と安全	演習	1	3	半期	●	○				
	子どもの食と栄養	演習	2	2	通年	●	○				
	子ども家庭支援論	講義	2	4	半期	●	○				
	保育の計画と評価	講義	2	2	半期		○				
	保育内容総論	演習	1	4	半期		○	○F/○G			
	幼児と健康	講義	2	1	半期	●	○D	○			
	幼児と人間関係	講義	2	2	半期	●	○D	○			
	幼児と環境	講義	2	1	半期	●	○D	○			
	幼児と言葉	講義	2	2	半期	●	○D	○			
	幼児と表現	講義	2	1	半期	●	○D	○			
	健康領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●	○	○			
	健康領域指導法Ⅱ	演習	1	3	半期		○	○F/○G			
	人間関係領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●	○	○			
	人間関係領域指導法Ⅱ	演習	1	3	半期		○	○F/○G			
	環境領域指導法Ⅰ	演習	1	1	半期	●	○	○			
	環境領域指導法Ⅱ	演習	1	1	半期	●	○	○			
	言葉領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●	○	○			
	言葉領域指導法Ⅱ	演習	1	3	半期		○	○F/○G			
	表現領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●	○	○			
	表現領域指導法Ⅱ	演習	1	2	半期		○	○F/○G			
	乳児保育Ⅰ	講義	2	2	半期	●	○				
	乳児保育Ⅱ	演習	1	2	半期	●	○				
	社会的養護Ⅰ	講義	2	1	半期	●	○				
	社会的養護Ⅱ	演習	1	2	半期	●	○				
	障害児保育	演習	2	3	通年	●	○				
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	2	半期		○				
	在宅保育	講義	2	4	半期		○D			○	
	保育実習Ⅰ	実習	4	2	通年		○				
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	2	通年		○				
	保育実習Ⅱ ※1	実習	2	3	半期		○E				
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	3	半期		○E				
	保育実習Ⅲ ※1	実習	2	3	半期		○E				
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	3	半期		○E				

児童保育学部 乳児保育学科 (2024 年度 入学生用)

●卒業必修 ○資格必修 ○選択必修

区分	科目名	授業方法	単位数	年次	期別	卒業	乳児保育士	保育士	幼稚園教諭一種	認定ベビーシッター	社会福祉主事任用
基礎科目	教育学概論	講義	2	1	半期	●		○	○		
	倫理学	講義	2	3	半期	●		○			○I
	社会学	講義	2	4	半期	●		○C			○I
	人間論	講義	2	2	半期	●		○			
	子どもの人権	講義	2	4	半期	●		○C			
	生活環境論	講義	2	4	半期	●		○C			
	総合保育論	講義	2	4	半期	●		○C			
	情報処理演習Ⅰ	演習	1	1	半期	●		○C	○		
	情報処理演習Ⅱ	演習	1	1	半期	●		○C	○		
	日本国憲法	講義	2	1	半期	●		○C	○		
	英語	演習	2	1	通年	●		○	○		
	フランス語	演習	2	2	通年	○A		○D			
	韓国語	演習	2	2	通年	○A		○D			
	体育（講義）	講義	1	1	半期	●		○	○		
	体育（実技）	実技	1	1	半期	●		○	○		
基礎科目の必要単位数小計						24					
学科科目	社会福祉	講義	2	1	半期	●		○			○I
	子育て支援	演習	1	2	半期	●		○			○I
	子ども家庭福祉	講義	2	1	半期	●		○			○I
	保育原理	講義	2	1	半期	●		○	○H		
	保育者論	講義	2	1	半期	●		○	○H		
	保育の心理学	講義	2	1	半期	●		○			
	子どもの理解と援助	演習	1	3	半期	●		○			
	子どもの保健	講義	2	2	半期	●		○			
	子どもの健康と安全	演習	1	3	半期	●		○			
	子どもの食と栄養	演習	2	2	通年	●		○			
	子ども家庭支援論	講義	2	4	半期	●		○			
	保育の計画と評価	講義	2	2	半期			○			
	保育内容総論	演習	1	4	半期			○	OG/OH		
	幼児と健康	講義	2	1	半期	●		○E	○		
	幼児と人間関係	講義	2	2	半期	●		○E	○		
	幼児と環境	講義	2	1	半期	●		○E	○		
	幼児と言葉	講義	2	2	半期	●		○E	○		
	幼児と表現	講義	2	1	半期	●		○E	○		
	健康領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●		○	○		
	健康領域指導法Ⅱ	演習	1	3	半期			○	OG/OH		
	人間関係領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●		○	○		
	人間関係領域指導法Ⅱ	演習	1	3	半期			○	OG/OH		
	環境領域指導法Ⅰ	演習	1	1	半期	●		○	○		
	環境領域指導法Ⅱ	演習	1	1	半期			○	OG/OH		
	言葉領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●		○	○		
	言葉領域指導法Ⅱ	演習	1	3	半期			○	OG/OH		
	表現領域指導法Ⅰ	演習	1	2	半期	●		○	○		
	表現領域指導法Ⅱ	演習	1	2	半期			○	OG/OH		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	2	半期	●		○			
	乳児保育Ⅱ	演習	1	2	半期	●		○			
	社会的養護Ⅰ	講義	2	1	半期	●		○			
	社会的養護Ⅱ	演習	1	2	半期	●		○			
	障害児保育	演習	2	3	通年	●		○			
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	2	半期			○			
	在宅保育	講義	2	4	半期			○E		○	
	保育実習Ⅰ	実習	4	2	通年			○			
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	2	通年			○			
	保育実習Ⅱ ※1	実習	2	3	半期			○F			
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	3	半期			○F			
	保育実習Ⅲ ※1	実習	2	3	半期			○F			
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	3	半期			○F			
	保育実践学習Ⅰ	演習	1	1	半期			○			
	保育実践学習Ⅱ	演習	1	1	半期			○			
	保育実践学習Ⅲ	演習	1	2	半期			○E			
	保育実践学習Ⅳ	演習	1	2	半期			○E			
	教職論	講義	2	1	半期	●			○		
	教育相談	講義	2	3	半期	●			○		
	教育方法・技術論	講義	2	3	半期	●			○		
	幼児理解	講義	2	4	半期	●		○E	○		
	教育心理学	講義	2	3	半期	●			○		
	特別支援教育総論	講義	2	2	半期	●			○		

(3) 育英短期大学 保育学科（絵本学担当：小屋美香先生）2025 年 1 月 23 日訪問

育英短期大学は「公正・純真・奉仕・友愛」の道德理念を培い、つねに国際的視野に立って、世界の平和と社会の福祉に貢献できる人材を育成することを使命としている。保育学科においては、優れた保育者の育成を目指し、現場で即戦力になれる専門性の高い保育者を養成している。

【沿革】

- 1970 年 前橋保育専門学校(育英短期大学の前身)を開校
- 1977 年 前橋育英学園短期大学（保育学科）開学（定員 100 名）
- 1983 年 前橋育英学園短期大学に英語科を設置
- 1987 年 前橋育英学園短期大学を高崎市に移転 名称を育英短期大学に変更
- 1990 年 創立 20 周年記念式典举行
- 2000 年 育英短期大学保育学科定員増（定員 150 名）
- 2002 年 育英短期大学英語科を改組し、現在コミュニケーション学科を設置
- 2003 年 育英短期大学保育学科定員増（定員 2000 名）
- 2009 年 育英短期大学保育学科「専攻」区分を廃止
育英短期大学現代コミュニケーション学科を 5 コースに変更
- 2010 年 育英短期大学男女共学化
- 2013 年 育英短期大学現代コミュニケーション学科を 6 コースに変更
- 2015 年 育英短期大学保育学科定員増（定員 240 名）

【学科構成】

保育学科と現代コミュニケーション学科の 2 学科で構成されており、保育学科は現在定員 170 名で 1 年生 153 名、2 年生 149 名が在籍している（2025 年 5 月 1 日現在）。現代コミュニケーション学科は定員 70 名で 1 年生 61 名、2 年生 56 名が在籍している（2025 年 5 月 1 日現在）。

【教育課程】

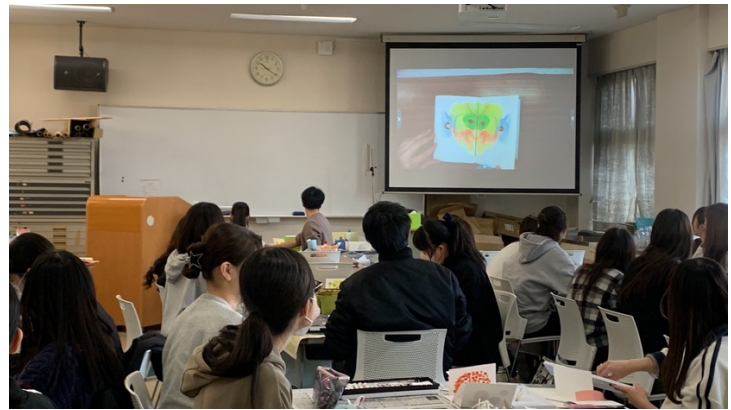
取得可能な資格・免許状は、幼稚園教諭 2 種免許状、保育士資格、認定絵本土、おもちゃインストラクター、子ども身体運動発達指導士、認定ベビーシッター、児童厚生 2 級指導員資格、准学校心理などがある。

2 年次から 4 系統の実践的カリキュラム「子ども表現プログラム」、「子ども文化プログラム」、「子ども運動プログラム」、「子どもユニバーサルプログラム」を導入し、学生の興味や得意分野に応じて専門性を高め、現場で即戦力として働く力をつけることができる。幼稚園教諭 2 種免許状と保育士資格以外の資格については、この 4 つのプログラムの中で取得可能となる。

【認定絵本土講座】

2020 年に群馬県で初めて「認定絵本土」養成講座を開講した。認定絵本土は「子ども文化プログラム」のコースに位置づけられ、「絵本学」（30 コマ）の単位を修得することで認定を受けることができる。

訪問日に絵本学の講義を見学させていただいた。本学と同様、本講座は資格取得の選択科目のため、受講している学生は意欲的に参加し、熱心に取り組んでいた。この日は「絵本の世界を広げる技術 2 ワークショップ」の講義で、保育学科の美術教員が講義を担当していた。学生は絵画技法を学び、実際に体験してできた作品を使って冊子を作り、そこに言葉を添えてオリジナルの絵本を作成した。個々に絵本を作成するだけでなく、数名の学生が完成した絵本を紹介し、互いの作品に触れる時間があり、絵本が絵と言葉で作られた芸術であることを実感できる内容だった。



参考資料：授業風景と学生の作品

【絵本にかかわる活動】

対応してくださった小屋先生のゼミ学生とともに「たかさき絵本フェスティバル」を見学させていただいた。たかさき絵本フェスティバルは、群馬県高崎市で毎年 1 月下旬に開催される絵本のイベントであり、今回で 31 回目を迎えた。主催の NPO 時をつむぐ会は「絵本と童話 本の家」主催の絵本勉強会に参加していた方達を中心に 1994 年に発足し、絵本や児童文学を通した様々な取り組みを行なっている。子どもたちが思いきり体を動かせるケルナー広場という公園を管理・運営したり、子育て支援事業や子育て支援講師の派遣などを行なったりしている。

認定絵本土講座を受講している小屋ゼミの 2 年生が、この絵本フェスティバルで原画の作品展示や展示絵本の POP の作成などを手伝っているとのことだった。このように地域で絵本の活動をしている団体と大学が繋がり活動に参加することは、学生自身の絵本の学びの深まりだけでなく、地域参加や地域貢献の機会として大変貴重であると感じた。



参考資料：学生が作成した POP と絵本の展示

【図書館における絵本展示】

図書館の見学をさせていただいた。それほど広くはないものの空間をうまく使い、以下の写真のように絵本コ

コーナーや紙芝居のコーナーを設置していた。

それ以外にも以下の写真のような絵本棚を設置していたのが興味深かった。訪問日は「〇〇の 100 冊」という特集が行われており、高崎市の絵本屋“本の家”がすすめる「先生を目指す学生におすすめの 100 冊」の絵本の展示、前橋市にある絵本屋“フリッツ・アートセンター”がすすめる「感性を刺激する 100 冊」の絵本の展示、育英大学・育英短期大学の学生や教職員が推薦する「読んでもらいたい絵本 100 冊」の展示、また絵本専門士を持つ小屋先生推薦の「絵本棚の仲間に入れて欲しい 100 冊」の展示など、学内だけでなく学外の絵本屋さんとも交流されており、地域とのつながりを感じる絵本展示を行っていた。

また絵本学の講義で作成した「みんなに読んでほしい おすすめ絵本」の POP が館内に掲示されていた。学生の講義での成果を、学内でも発信していくことについては大変参考になる取り組みであった。



絵本コーナー



紙芝居コーナー



POP の展示



“本の家”の 100 冊



“フリッツ・アートセンター”の 100 冊



学生や教職員・小屋先生の 100 冊

4. 今後の課題

絵本は子どもの発育発達に必要な物語を楽しむ文化財である。これまで保育園や幼稚園児はもとより、高校生や大学生、保護者や教育関係の大人までさまざまに絵本を読み聞かせた際に、また、そのような場面に参加した際に、誰もが笑顔になり、絵本の世界を受け入れることを経験してきた。石川(2017)は絵本の持つ意義について、大人と子どもが絵本を介して絵本に表現された言葉と絵の面白さ、楽しさ、歓びをわかちあう、そのような関係を育てるアーティファクトとしての存在的意味を持つと指摘している。

また、絵本を媒介とする活動が子どもの発達に有効であるとする指摘に、絵本作家や教育的、養育的な場での絵本の利用者などの経験主義的な立場からの指摘がある。絵本作成や子育てや保育の場で読み聞かせをしてきた経験から、絵本の選び方や読み聞かせなどに関して示唆を与えてくれる。絵本を介しての言語発達、特に子どもの語彙獲得に視点を当てたものや発達の最近接領域の視点から親の働きかけに焦点を当てた研究がある。これらの研究から、絵本を介したやりとりが、子どもの語彙獲得を促進すること、その際に子どもの発達に応じて母親が働きかけを変えることで、子どもが言語を理解しやすい環境を作り出していることなどが明らかとなってきた。他方、物語記憶研究から絵本を繰り返し読み聞かせることや絵本がもつ繰り返しの構造が子どもの再認や再生の援助となること、物語理解に際して子どもが物語スキーマを手がかりとしていることなどが明らかになって

きている。

このように絵本が子どもの感性を育み、想像力を豊かにすること、遊びの世界を広げ、コミュニケーション能力を高める働きをすることは多くの実践と研究が指摘している。

以上のことから本学での課題をいくつか述べる。一点目は授業の成果の発信を検討することである。学生の学びの意欲をより高めるための方法を、発信という形で行うことができるのではないだろうか。育英短期大学のようにはまずは図書館と連携を取りながら可能性を探っていきたい。二点目は絵本を学ぶ学生や認定絵本土取得後の活動の検討である。学んで終わりではなく、学んだ知識や技術を活用し、絵本の学びを続ける機会を作ること、また個々の学生の実践力を高める支援を継続的に行う仕組みを作りたい。そして最後に地域と絵本を通してつながることである。学内に留まらず地域の中で絵本の活動を行うことは、本来の認定絵本土の役割と通じる。そのためにまずは地域とのつながりや地域への貢献として何ができるかを検討したい。

【参考文献】

- ・絵本専門士委員会(2020) 認定絵本士養成講座テキスト中央法規出版絵本専門士委員会(2023) 認定絵本士養成講座カリキュラムに関するガイドライン国立青少年教育振興機構(2024) 絵本専門士ホームページ
<https://www.niye.go.jp/services/ehon.html> (閲覧日: 2025.1.28)
- ・国立青少年教育振興機構(2024) 認定絵本士ホームページ <https://www.niye.go.jp/services/ehon-nintei.html> (閲覧日: 2025.1.28)
- ・古川元視・石川千穂子(2023). 認定絵本士養成講座に関する意識調査研究の一考察 別府大学短期大学部幼児・児童教育研究センターセンターレポート 42 2-8.
- ・廣瀬真喜子・羽地知香・玉城哲人・赤嶺絵吏子(2023). 「子どもと絵本」の授業導入と授業における学生の変容: 認定絵本士の資格取得と保育者としてのスキルアップを目指して 沖縄女子短期大学紀要 36 83-90.
- ・石川由美子・石川隆(1994) 絵本の特性に関する研究. 日本保育学会第 47 回大会発表論文集, 564-363.
- ・石川由美子(2009) 子どもの認知発達を促す最近接発達領域を生み出す「場」としての絵本についての一考察. 聖学院大学論叢 第 22 巻第 1 号
- ・石川由美子(2011) 人工物 (artifact) としての絵本—母親の子どもの認知発達に関する絵本への期待調査から—, 聖学院大学論叢 第 24 巻第 1 号
- ・石川由美子(2021) 絵本を媒介とする母子活動が乳幼児の絵本認知に及ぼす発達的变化. 宇都宮大学共同教育学部研究紀要 第 71 号
- ・佐々木宏子(1975) 絵本と想像性: 三歳前の子どものにとって絵本とは何か. 高文堂.
- ・高木和子(1978) 物語シエマの形成における幼児むけ物語のもつくり返し構造の役割. 山形大学紀要 (教育科学) , 7(1), 83-105.
- ・津守真・稲毛和子(1965) 乳幼児精神発達診断法 (3~7). 大日本図書.
- ・永田桂子(1985) 乳幼児絵本の機能的側面についての一考察: 事例研究を通して. 日本保育学会第 38 回大会発表論文集, 156-157.
- ・松井直(1990) 『絵本・物語るよろこび』 福武書店
- ・松井直(2004) 『絵本を読む』 新装版 日本エディタースクール出版部
- ・松居直(1981) わたしの絵本論: 0 歳からの絵本. 国土社
- ・松谷みよこ・瀬川康男(1967) いないいないばあー. 童心社.
- ・村中李衣(2002) 『子どもと絵本を読みあう』 ぶどう社
- ・山崎翠(1986) 『子育てに絵本を』 エイデル研究所
- ・柳田邦男(2009) 『みんな、絵本から』 講談社
- ・脇明子(2008) 『物語が生きる力を育てる』 岩波書店
- ・渡部茂男(1978) 絵本の与え方. 日本エディタースクール出版部.
- ・山口茂嘉・高橋敏之・小坂圭子(1994) 幼児期における言語環境としての絵本に関する一考察. 岡山大学教育学部紀要, 97, 41-46.